

しんれんざい
新連載!

ぎのうじっしゅうせいかつ かなら やくだ 技能実習生活に必ず役立つ にほんご

だい 第1回 かい

どうも

こうえきしゃだんほうじん こくさいにほんごふきゅうきょうかい たけだ ゆみ
公益社団法人 国際日本語普及協会 武田 由美

イラスト：リオ輔



にほんごには、みなさんが職場で話す「ていねいなことば」と、ともだちどうして話す「ともだちことば」があります。

「どうも」は、「ていねいなことば」と「ともだちことば」と、どちらでも使うことができます。

みなさんは「どうも」ということばを聞いたことがありますか。

① 「どうもありがとうございます。」と言うと、丁寧ていねいに聞こえますね。「どうも」はことばの前まえに付つけると「本当に」という意味になるからです。ですから、「ありがとうございます。」とい

う意味で、何かプレゼントをもらったとき、「どうも」だけでもお礼れいのことばになります。

ここで、日本の習慣しゅうかんと「どうも」について話はなします。日本では、プレゼントをもらって「ありがとう」と言いいますが、その次に会あったときにも、もう一度「ありがとう」を言いう習慣しゅうかんがあります。そのときに「この間あいだは、どうも」「昨日きのうは、どうも」などと言いいます。

② 「すみません、これはちょっと、どうも…」とお店みせで高たかいものや好すきではないものをすすめられたとき、「買かいません。」「よくないです。」

という意味で「どうも…」と言いうこともできます。

これは、顔かおの表情ひょうじょう（「ごめんなさい」の顔かお）も一緒いっしょにするといいですね。

Aさん：これは、いかがですか。

Bさん：これは、どうも…。

「どうも」は、あいさつにも使つかうことができます。どんな場面ばめんで「どうも」を聞ききますか。ほかにも「どうも」を使つかっているかもしれません。探さがしてみてください。

次回は「しつれいします」です。